

特別企画：2022 年に「周年記念」を迎える栃木県内企業の実態調査

栃木県内で「周年記念」を迎える企業は 2025 社

～「創業 100 周年」は 18 社、「50 周年」は 393 社～

コロナ禍に翻弄された 2021 年も終わりを告げようとしている。感染者数がここにきて落ち着いてきており、経済活動の本格化が話題の中心になるなかだが、「オミクロン株」や「3 回目のワクチン接種」など、新たな懸念も浮上しており、アフターコロナと言にくい現状である。しかし、歴史を振り返れば、人類と感染症の戦いは周期的に発生し、そのすべてを克服して今があることも事実だ。日本経済を支える企業においては、産業構造の変化や時代のニーズに対応しながら、厳しい局面を幾度となく乗り越え、長年事業を維持し続けている企業の存在は、まさに模範とするところで、評価して然るべきであろう。今年もこの企画を発表できることを喜びながら、アニバーサリー企業に心から敬意を表したい。

帝国データバンク宇都宮支店では、企業概要データベース「COSMOS 2」(栃木県内企業約 2 万 1500 社収録)のなかから、2022 年に 30、50、100 周年などの節目を迎える栃木県内の企業(「アニバーサリー企業」)を集計し(創業 10 周年以上を 10 年刻みで集計)、創業 100 周年を迎える 18 社などアニバーサリー企業 2025 社について業種別、地域別、年商規模別などに分析した。

栃木県内企業について発表するのは、今回で 9 回目。

調査結果(要旨)

1. 栃木県内企業で来年 2022 年に創業から 30、50、100 周年などの節目を迎える「アニバーサリー企業」は 2025 社。うち創業 100 周年は 18 社、50 周年は 393 社である。
2. 100 周年企業 18 社の業種別内訳では、「建設業」が 11 社でトップ。50 周年では、「建設業」が 139 社と突出して多い。
3. 100 周年企業の地域別では、「宇都宮市」が 5 社で最も多く、50 周年では、「宇都宮市」103 社、「足利市」48 社、「鹿沼市」36 社、「栃木市」30 社の順であった。
4. 100 周年企業を年商規模別で見ると、「1 億～10 億円未満」が 8 社で最も多く、50 周年では、「1 億円未満」が 224 社で最も多かった。

主な周年記念企業

周年	商 号	創業年	主な事業	本社所在地
250	(株) 米源	1772 明和9年/安永元年	食料飲料卸	日光市
180	(株) 渡辺佐平商店	1842 天保13年	清酒製造	日光市
150	西堀酒造 (株)	1872 明治5年	酒類製造	小山市
150	飯島 合名会社	1872 明治5年	日本茶卸	宇都宮市
130	フナダ (株)	1892 明治25年	事務機器・OA機器販売	佐野市
130	(株) 山本総本店	1892 明治25年	菓子製造小売	栃木市
120	(有) 扇屋建設	1902 明治35年	木造建築工事業	那須塩原市
120	(株) 臼井ベニヤ商会	1902 明治35年	木材・竹材卸	宇都宮市
110	(株) 嶋田屋本店	1912 明治45年/大正元年	酒類卸	鹿沼市
110	(株) タカサゴ	1912 明治45年/大正元年	パン製造	宇都宮市
100	学校法人 佐山学園	1922 大正11年	高等学校	佐野市
100	(株) 川堀工務店	1922 大正11年	建築工事業	宇都宮市
100	石川建設 (株)	1922 大正11年	一般土木建築工事業	那須塩原市
90	大和鋼管工業 (株)	1932 昭和7年	鋼管製造	さくら市
70	志賀産業 (株)	1952 昭和27年	パチンコホール	足利市
70	マルホ建設 (株)	1952 昭和27年	一般土木建築工事業	大田原市
70	(株) 三洋製作所	1952 昭和27年	アルミ加工品製造	宇都宮市
60	大矢商事 (株)	1962 昭和37年	圧縮・液体ガス卸	宇都宮市
60	栃木発条 (株)	1962 昭和37年	金属スプリング製造	足利市
60	(株) HSC	1962 昭和37年	職業訓練施設	足利市
60	(株) 高橋プロダクト	1962 昭和37年	金型・同部品等製造	足利市
60	アーベストフーズ (株)	1962 昭和37年	野菜漬物製造	大田原市
50	(株) 宇都宮イングリッシュセンター	1972 昭和47年	非各種学校の学習塾	宇都宮市
50	日進テクノ (株)	1972 昭和47年	一般管工事業	足利市
50	(株) 那須環境技術センター	1972 昭和47年	検査業	那須塩原市
50	(株) カミヤマ	1972 昭和47年	ベニヤ板製造	鹿沼市
50	(株) 船生コンクリート工業	1972 昭和47年	コンクリート品製造	塩谷町
50	(株) アミノ	1972 昭和47年	米菓製造	那須烏山市
50	(株) トチナン	1972 昭和47年	一般管工事業	小山市
50	芳賀精密工業 (株)	1972 昭和47年	プリント回路製造	真岡市
50	光産業 (株)	1972 昭和47年	建築材料卸	宇都宮市
50	(株) シンデン	1972 昭和47年	発泡強化樹脂品加工	小山市
50	UDトラックス栃木 (株)	1972 昭和47年	自動車卸	宇都宮市
40	(株) キリウ	1982 昭和57年	自動車操縦装置製造	足利市
40	ハートランド・データ (株)	1982 昭和57年	ソフト受託開発	足利市
30	(有) トーセツ	1992 平成4年	配管冷暖房装置等卸	足利市
30	(株) 足利建機産業	1992 平成4年	建設・鉱山機械整備	足利市
30	(有) エスケーシー	1992 平成4年	冷暖房設備工事業	足利市

1. 栃木県内で 2022 年に「周年記念を迎える企業」は 2025 社

2022 年に創業から 30、50、100 周年などの大きな節目を迎える「アニバーサリー企業（各種法人、個人営業含む）」は栃木県内には 2025 社あることが判明した。このうち、創業 100 周年を迎える企業（1922 年（大正 11 年）創業）は、学校法人 佐山学園（佐野市・高等学校）、（株）川堀工務店（宇都宮市・建築工事）、石川建設（株）（那須塩原市・一般土木建築工事）など 18 社。100 年前というと、国際社会においては第一次世界大戦が終結し、その後国際連盟が発足して 2 年が経過した時点で、日本も常任理事国として列強の一角として認められつつある時代であり、ワシントン海軍軍縮条約が締結され、ソビエト連邦が成立したのもこの年である。国際的に復興期であり景気的には好況とも言え、企業

が創業される背景としては好環境であったろうと思われる。国内においては、教育、文化が花開きつつある時期でもあり、「専修大学」「立教大学」「立命館大学」「関西大学」などが次々と設立認可を受け、マスコミ業界でも「サンデー毎日」や「週刊朝日」が創刊されたのもこの年である。スポーツ関係では、第一回ラグビー早慶戦が開催され、文学では芥川龍之介の「トロッコ」がベストセラーとなった時代だ。

また、創業 50 周年を迎える企業（1972 年（昭和 47）創業）は、（株）宇都宮イングリッシュセンター（宇都宮市・各種学校）、日進テクノ（株）（足利市・一般管工事）、（株）那須環境技術センター（那須塩原市・検査業）、（株）カミヤマ（鹿沼市・ベニヤ板製造）、（株）船生コンクリート工業（塩谷町・コンクリート品製造）、（株）アミノ（那須烏山市・米菓製造）など 393 社。50 年前の出来事としては、国内政治では「日本列島改造論」で時代の寵児となった田中角栄氏が内閣総理大臣に就任し、日中国交正常化、沖縄返還などを次々と実行した。また、2 月には札幌冬季オリンピック、8 月にはミュンヘンオリンピックが開催され、スポーツに注目が集まったときでもあった。特に札幌では、スキージャンプで、笠谷幸生選手をはじめとする「日の丸飛行隊」が金銀銅メダルを独占し、フィギュアスケートではジャネット・リン選手が注目を集めた。また、ミュンヘンでは、体操男子が各種目で金メダルを独占し、特に塚原光男選手の鉄棒「月面宙返り」は、日本中が歓喜した。男子バレーボールも念願の金メダルを獲得したことも記憶に残っている。芸能界では西城秀樹、郷ひろみといったアイドルがデビューし、天地真理、南沙織、小柳ルミ子らが「新三人娘」として一世を風靡した。この年の日本レコード大賞はちあきなおみの「喝采」が

周年		創業年	周年記念企業	割合	
				(社)	
				うち「オーナー企業」	
10	2012	平成24年	230	22	9.6%
20	2002	平成14年	267	23	8.6%
30	1992	平成4年	279	14	5.0%
40	1982	昭和57年	301	15	5.0%
50	1972	昭和47年	393	20	5.1%
60	1962	昭和37年	221	6	2.7%
70	1952	昭和27年	183	10	5.5%
80	1942	昭和17年	18	2	11.1%
90	1932	昭和7年	21	0	0.0%
100	1922	大正11年	18	3	16.7%
110	1912	明治45年/大正元年	39	2	5.1%
120	1902	明治35年	20	0	0.0%
130	1892	明治25年	10	2	20.0%
140	1882	明治15年	6	0	0.0%
150	1872	明治5年	16	2	12.5%
160	1862	文久2年	0	0	-
170	1852	嘉永5年	1	0	0.0%
180	1842	天保13年	1	0	0.0%
190	1832	天保3年	0	0	-
200	1822	文政5年	0	0	-
250	1772	明和9年/安永元年	1	0	0.0%

受賞した。一方で、テレビドラマでは「仮面ライダー」や「天才バカボン」など今日のアニメブームの黎明期とも言え、後年に影響を与えるアニメが流行った。

なお、今回掲載した周年記念企業で最も古い企業は、創業 250 周年を迎える（株）米源（日光市・食料飲料卸）である。250 年前の 1772 年（安永元年）の日本は、徳川 10 代将軍家治の時代で、田沼意次が老中に就いたのがこの年である。英国海軍士官で海洋探検家のジェームス・クック（キャプテンクック）が、レゾリュション号で第二回目の航海に出航したのもこの年、彼は後に見本とされる海図（チャート）の作成を成し遂げた人物である。また、アメリカの独立戦争が勃発するのがこの 3 年後であるから、世界的に見ても近代化はまだまだ先の時代と言える。（株）米源は、この時代に酒造業として創業された会社であり、今日に至るまで事業を存続させていることは、範たる事例とされるであろう。

いずれにしても、今回紹介した長寿企業は長い年月絶えることなく事業を存続して来たわけで、時には業種を転換することもあり、新商品開発や設備投資の決断など様々な経営努力を時代背景の変化とともにやってきたからこそ今があるのであり、その苦労は想像を絶するものがある。今回、周年記念を迎えた企業には、心から敬意を表したいと思う。

2. 業種別 ～100 周年、50 周年ともに「建設業」が最多～

業種別	10 周年		30 周年		50 周年		100 周年		150 周年		200 周年		250 周年		全体
	社数	構成比 (%)	社数	構成比 (%)	社数	構成比 (%)	社数	構成比 (%)	社数	構成比 (%)	社数	構成比 (%)	社数	構成比 (%)	
建設業	74	32.2	82	29.4	139	35.4	11	61.1	1	6.3	0	0.0	0	0.0	615
製造業	21	9.1	27	9.7	70	17.8	2	11.1	4	25.0	0	0.0	0	0.0	280
卸売業	7	3.0	20	7.2	24	6.1	2	11.1	5	31.3	0	0.0	1	100.0	170
小売業	22	9.6	34	12.2	42	10.7	2	11.1	5	31.3	0	0.0	0	0.0	280
運輸・通信業	13	5.7	11	3.9	18	4.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	69
サービス業	57	24.8	86	30.8	60	15.3	1	5.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	444
不動産業	13	5.7	14	5.0	33	8.4	0	0.0	1	6.3	0	0.0	0	0.0	108
農林水産業	9	3.9	3	1.1	5	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	31
金融保険業	3	1.3	2	0.7	2	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	14
その他	11	4.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	14
合計	230	100.0	279	100.0	393	100.0	18	100.0	16	100.0	0	0.0	1	100.0	2,025

栃木県内のアニバーサリー企業を業種別で見ると、100 周年では「建設業」が 11 社（構成比 61.1%）でトップとなり、次いで「製造業」、「卸売業」、「小売業」の各 2 社（同 11.1%）が続いた。創業時期の時代背景が、大正バブル時代であったことも一助となり、明治維新後富国強兵論を掲げた日本において、この時期に様々な事業が創業され企業が芽吹き始めたものと推察できる。今日の基幹産業として国内で最も企業数が多い「建設業」も、この時期に先発企業が続々創業されることになるわけだ。

また、創業 50 周年を迎える企業では「建設業」が 139 社（構成比 35.4%）でトップであり、栃

木県内の基幹産業に発達していく過程が垣間見える。次いで「製造業」が 70 社（同 17.8%）、「サービス業」が 60 社（同 15.3%）、「小売業」42 社（同 10.7%）と続いた。高度経済成長期の後半にあたる時代だけあって、創業企業数も格段に増加しているのが目立つ。また、様々な業種が派生し、例えば卸と小売の分業化などが進むのもこの時期と見て取れる。

因みに、30 周年（1992 年（平成 4 年）創業）の状況を見ると、バブル崩壊直後にあたり、景況感悪化の中、引き続き建設業のニーズは高い。しかし特筆すべきは、第 3 次産業「サービス業」の創業が最多の 86 社（構成比 30.8%）と、目立つようになっており、様々なサービス事業が成立し、産業構造が大きく動いていることを改めて感じた。アメリカ合衆国では、ビル・クリントン氏が大統領に就任した。また、バルセロナオリンピックが開催され、日本人選手では、水泳の岩崎恭子選手が 14 歳で金メダル、また、平成の三四郎・古賀稔彦選手が柔道で金メダルを獲得したのがこの年だ。映画界では、「紅の豚」が興行収益トップとなり、ジブリ映画が確固たる地位を占めたのもこの時期である。栃木県内企業では、（有）トーセツ（足利市・配管冷暖房装置卸）、（株）足利建機産業（足利市・建設・鉦山機械整備）、（有）エスケーシー（足利市・冷暖房設備工事）などが創業している。

3. 年商規模別 ～周年企業は 10 億円未満の中小企業が中心～

売上高規模別	10		30		50		100		150		200		250		全体
	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)	
1億円未満	148	64.3	171	61.3	224	57.0	5	27.8	4	25.0	0	0.0	1	100.0	1,197
～10億円未満	78	33.9	95	34.1	147	37.4	8	44.4	10	62.5	0	0.0	0	0.0	722
～50億円未満	3	1.3	11	3.9	18	4.6	5	27.8	1	6.3	0	0.0	0	0.0	83
～100億円未満	0	0.0	1	0.4	3	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	13
～500億円未満	1	0.4	1	0.4	0	0.0	0	0.0	1	6.3	0	0.0	0	0.0	8
～1000億円未満	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
1000億円以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
合計	230	100.0	279	100.0	393	100.0	18	100.0	16	100.0	0	0.0	1	100.0	2,024

注：母数は売上高規模「未詳」を除く2024社

創業 100 周年を迎える 18 社を年商規模別に見ると、最も多かったのは「1 億～10 億円未満」で 8 社（構成比 44.4%）であった。次いで、「1 億円未満」及び「10 億～50 億円未満」が各 5 社（同 27.8%）と続いた。10 億円未満の占有率が 72.2%を占め、老舗企業であっても、中小企業が大半を占める実態が確認できた。一方、50 周年を迎える 393 社について見ると、「1 億円未満」が 224 社（構成比 57.0%）と過半数に達しており、以下、「1 億～10 億円未満」が 147 社（同 37.4%）、「10 億～50 億円未満」が 18 社（同 4.6%）と続き、「10 億円未満」の中小企業が 94.4%にもものぼる。

この傾向は他の周年企業でも同様の傾向を示しており、30 周年でも 95.4%を占めている。老舗と言うと経営基盤がしっかりとした大企業が中心で、中小企業は経営基盤が脆弱で長寿企業は少ないのでは・・・というイメージがあるが、統計上は事業規模に比例はしないというのが実情のようである。もっとも、現在弊社に登録されている栃木県内企業の約 58%が年商規模 1 億円未満であるから、こういった傾向を示すのは十分頷ける内容なのである。

4. 地域別 ～周年企業は「宇都宮市」所在がトップ～

市区郡別	10		30		50		100		150		200		250		全体
	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)	
宇都宮市	62	27.0	93	33.3	103	26.2	5	27.8	4	25.0	0	0.0	0	0.0	554
足利市	13	5.7	17	6.1	48	12.2	1	5.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	162
栃木市	26	11.3	18	6.5	30	7.6	3	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	151
佐野市	17	7.4	14	5.0	13	3.3	2	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	122
鹿沼市	22	9.6	12	4.3	36	9.2	0	0.0	1	6.3	0	0.0	0	0.0	154
日光市	4	1.7	7	2.5	17	4.3	2	11.1	4	25.0	0	0.0	1	100.0	100
小山市	19	8.3	17	6.1	22	5.6	1	5.6	5	31.3	0	0.0	0	0.0	141
真岡市	5	2.2	7	2.5	23	5.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	68
大田原市	9	3.9	8	2.9	11	2.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	66
矢板市	7	3.0	10	3.6	6	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	37
那須塩原市	18	7.8	17	6.1	21	5.3	1	5.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	121
さくら市	2	0.9	11	3.9	9	2.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	49
那須烏山市	1	0.4	3	1.1	4	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	29
下野市	4	1.7	6	2.2	15	3.8	0	0.0	1	6.3	0	0.0	0	0.0	42
河内郡	4	1.7	6	2.2	4	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	31
芳賀郡	3	1.3	7	2.5	12	3.1	1	5.6	1	6.3	0	0.0	0	0.0	54
下都賀郡	6	2.6	9	3.2	11	2.8	1	5.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	62
塩谷郡	2	0.9	6	2.2	4	1.0	1	5.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	31
那須郡	6	2.6	11	3.9	4	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	51
合計	230	100.0	279	100.0	393	100.0	18	100.0	16	100.0	0	0.0	1	100.0	2,025

創業 100 周年を迎える 18 社を地域別に見ると、「宇都宮市」が 5 社（構成比 27.8%）でトップ、次いで「栃木市」が 3 社（同 16.7%）、「佐野市」、「日光市」が各 2 社（同 11.1%）が続いた。創業 50 周年については、「宇都宮市」103 社（構成比 26.2%）でトップ、次いで「足利市」の 48 社（同 12.2%）、「鹿沼市」36 社（同 9.2%）、「栃木市」30 社（同 7.6%）、「真岡市」23 社（同 5.9%）の順となった。

もともと県庁所在地であり県下最大の市でもある宇都宮市に本店を置く企業数が多いこともあり、30 周年、10 周年というカテゴリーでも宇都宮市がトップのシェア率であった。

周年企業が多い市郡は、歴史的な背景ともつながっているようである。例えば繊維業で大きな発展を遂げた足利市や佐野市、旧・栃木県（廃藩置県当初は栃木県と宇都宮県に分かれていた）

の県庁所在地として中心地であった栃木市、林業や木材事業で栄えた鹿沼市などで企業数が多いことも分かる。その時代の成長都市であった所で起業するケースが多いという傾向も見取れる。その後、時代の変遷とともに、県都である宇都宮市に一極集中化していく時代を迎え、一方では県南エリアでは小山市が新興都市として企業数を伸ばすなど、企業の創業という視点からも県内経済活動の推移が垣間見えるようだ。

また、企業は一つの商材で長年存続できるというものではない。例えば江戸時代創業の企業のなかには、炭を扱っていた企業が多く見られるが、炭や石炭が今の時代に残れるわけではない。その後燃料という観点で、石油やガスの販売業者に転身していくケースもよく見られる。味噌や醤油、清酒などを醸造していた業者が、時代の変化とともに、販売専業となるなど業種転換も珍しいことではない。紆余曲折を経て今も息づいている企業のたくましさには敬服する。

5. まとめ

来年 2022 年に創業からの節目を迎える企業は栃木県内で 2025 社を数える。今回の調査・分析では 10 年刻みで集計しているが、5 年刻みで創業を祝うケースも少なくないことから、実際にはさらに多くの企業が 2022 年に一つの節目を迎えることになる。なかでも 100 周年を迎える企業は 18 社、50 周年を迎える企業は 393 社と、多くの企業が記念すべき年を迎える。

また分析によれば、周年企業の多くが年商 10 億円未満の中小企業であり、歴史を重ねる企業は事業規模が大きいたくさんの従業員を抱えているわけではなく、むしろ事業規模が小さくても強固な経営基盤を保持している企業が中心であることも分かった。また、地域別では県都・宇都宮市が構成比では最も高く、時代の変遷によって各市郡の盛衰も垣間見ることが出来る。

企業の寿命が 30 年と言われるゆえんは、一つの商材やサービスでは、30 年も経過すると概ね時代や顧客のニーズに合わなくなり陳腐化するというところに他ならない。現代社会はさらにそのスピードを速めているとも言えよう。その意味では、常に新たな商材やサービスを求めていくことは、企業にとって重要なファクターだ。

最後に、一つ問題提起をしてこのレポートを閉めたい。次ページに参考までに「都道府県別周年記念企業」を掲載しているが、栃木県と隣接する群馬県を見比べて頂きたい。100 周年企業は「栃木県」18 社に対し、「群馬県」は 12 社と栃木県の方が多いわけだが、50 周年は栃木県 393 社に対し、群馬県 447 社、30 周年は栃木県 279 社に対し、群馬県 361 社とはるかに差が開いている。人口はほぼ同等の 2 県が、こうも企業数で違うものか・・・？ということだ。もちろん、周年記念企業の数があるまま経済力にはつながらないが、倒産や休廃業といった企業の死も反映されていることを考慮すると、基本的には「起業の数（会社が設立される数）」に関わる問題だと思っている。栃木県では起業する人が少ないため、企業数の減少につながり、そのまま経済のシュリンクにつながる。大きな課題として捉えるべきであろう。2022 年を迎えるにあたり、多くの企業が躍進し、栃木県の経済の屋台骨となるよう祈念してやまない。

参考 都道府県別周年記念企業

		周年							
地域 /	都道府県	10	30	50	100	150	200	250	300
									(社)
	北海道	1,073	870	1,061	55	4	0	0	0
東北	青森県	208	239	324	5	4	0	0	0
	岩手県	205	151	233	15	7	0	1	0
	宮城県	487	378	356	15	4	1	0	0
	秋田県	133	163	181	6	9	0	0	0
	山形県	155	216	278	18	6	1	2	0
	福島県	341	355	396	24	12	2	0	0
関東	茨城県	327	421	553	18	12	2	0	0
甲信越	栃木県	230	279	393	18	16	0	1	0
	群馬県	300	361	447	12	7	0	0	0
	埼玉県	932	842	1,180	29	14	1	1	0
	千葉県	738	748	863	26	22	0	0	0
	東京都	3,661	2,395	2,422	159	45	1	3	0
	神奈川県	1,312	1,013	1,146	26	16	0	0	0
	山梨県	168	180	175	11	9	0	0	0
	長野県	288	327	486	20	15	1	0	0
	新潟県	305	394	536	35	26	2	0	0
	富山県	220	183	284	16	11	0	1	0
北陸	石川県	240	208	298	12	5	0	0	0
	福井県	132	197	212	12	11	0	0	0
	岐阜県	186	315	425	14	7	0	1	0
中部	静岡県	395	602	742	43	22	0	0	0
	愛知県	869	1,005	1,188	58	18	0	2	1
	三重県	324	290	342	16	11	0	0	0
	滋賀県	159	178	210	16	14	0	0	0
近畿	京都府	321	362	436	35	26	0	1	2
	大阪府	1,756	1,394	1,413	73	14	1	0	0
	兵庫県	840	665	686	34	17	0	0	0
	奈良県	160	153	207	9	10	0	1	0
	和歌山県	115	155	196	14	5	0	0	0
	鳥取県	73	90	119	10	7	0	0	0
中四国	島根県	139	132	158	10	8	0	0	0
	岡山県	335	289	410	19	9	0	0	0
	広島県	619	493	657	23	14	0	0	1
	山口県	236	218	243	15	14	0	0	0
	徳島県	157	95	209	12	8	0	0	0
	香川県	248	150	220	6	10	0	0	0
	愛媛県	313	207	319	20	8	0	0	0
	高知県	121	122	160	8	6	0	0	0
	福岡県	981	794	838	38	10	0	1	0
	佐賀県	189	212	182	12	6	0	0	0
九州	長崎県	191	215	248	8	3	0	1	0
	熊本県	300	321	329	8	7	0	0	0
	大分県	282	224	268	11	5	0	0	0
	宮崎県	215	194	262	8	2	0	0	0
	鹿児島県	209	241	317	11	6	0	0	0
	沖縄県	388	273	337	2	0	0	0	0
	合計	21,576	19,309	22,945	1,065	522	12	16	4

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク宇都宮支店 情報担当： 古川哲也

TEL 028-636-0222 FAX 028-633-5639

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。